



## 認定を目指す学校のための FAQ

### 1. IB ワールドスクール(IB 認定校)になるためにはまず何をすればいいですか？

①公式ウェブサイトで情報を収集してください。<https://www.ibo.org/>

ここに IB のミッション、IB の各プログラムの概要、認定までのプロセス、DP の大学進学への活用、教員研修などに関する情報があります。このサイトは IB の公式言語の英語、フランス語、スペイン語で閲覧することが出来ます。日本の学校のためのページ(Resources for schools in Japan)にこれまで翻訳されたガイド等が閲覧できるようになっています。

<https://ibo.org/about-the-ib/the-ib-by-region/ib-asia-pacific/information-for-schools-in-japan/>

それ以外は日本語での情報はありませんので、日本語での情報をお求めの場合は、文部科学省 IB 教育推進コンソーシアムのウェブサイトをご覧ください。

<https://ibconsortium.mext.go.jp/>

ただし、情報が最新ではない場合がありますので、ご注意ください。

②IB では4種類の教育のプログラムを提供しています。どのプログラムを実施したいか決める必要があります。

<https://www.ibo.org/programmes/>

③次に認定校になるにはどうしたらいいかを説明しているページをご覧ください。

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/>

認定までのみちのりに関して

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/timeline-and-stages/>

費用に関して

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/fees-and-services/>

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/fees-and-services/assessment-fees-and-services/>

資料やガイドに関して

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/useful-resources/>

補助教材や出版物に関して

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/>

④IB のスタッフと認定に関して相談したい場合や認定を目指すか決定した場合は以下のページのオレンジ色の Become an IB World School ボタンをクリックしてください。

学校情報を入力するページに飛びますので、学校情報を入力し、ページの下のオレンジ色の Submit ボタンを押して提出してください。数日のうちに IB の地域開発マネージャーから登録したメールアドレスにメールが届きます。まれに迷惑メールに入ってしまうことがありますので、ご注意ください。メールが届きましたら、IB の担当者と相談を始めてください。

### 2. Become an IB World School で登録するにはお金がかかりますか？

いいえ、お金はかかりません。

### 3. Become an IB World School から学校情報を登録する前に、理事会や教員会議でその承認を得ておくことが必要ですか？

これは学校に判断をお任せしています。

決定権を持っていて、説明責任のある人物あるいはグループが決定することです。

4. 一度、学校情報を登録したら、必ず認定を受けることが義務付けられますか？  
いいえ、学校情報を登録したあとも、学校が認定校を目指さないと決めたら、その時点で撤退することは可能です。お金もかかりません。
5. 学校情報を登録するとどうなりますか？  
登録して頂くと貴校は「関心校」となり、IB の担当者が相談にのり、認定を目指すスタートラインに立つこととなります。
6. 関心校になったら、そのあとはどうすればいいですか？  
関心校になると IB の担当者（地域開発マネージャー）が候補校申請提出まで相談にのります。
7. 候補校申請とはどのようなものですか？  
候補校申請書の提出は認定校になるための重要な最初の申請です。申請書はオンラインで作成し、提出します。サンプルがありますので、内容は以下で確認してください。  
<https://ibo.org/en/become-an-ib-school/useful-resources/resource-library/#general>  
(なお、このサイトにあるガイドや出版物は大事なものばかりです。ご希望のプログラムに関するものをご一読ください。)'プログラム基準と実践要綱』に沿って学校の状況と計画に関する情報を入力します。途中保存が出来ますので、少しずつ入力作業を進めていくことが出来ます。なお、入力は英語での入力になります。
8. 候補校申請書はいつ提出すればいいですか？  
以前は年に4回の締め切り日の設定がありましたが、現在はいつでも提出できるようになっています。入力が終わり次第、ご提出ください。ただし、以下の点をご考慮ください。1) 候補校申請書提出前に候補校申請費の支払いが済んでいることが必須です。2) 候補校申請書提出前に学校長などが該当プログラムの管理職用のワークショップに参加済みであることが必須です。管理職の先生にご参加頂くワークショップ名は該当プログラムのカテゴリー1: Head of School です。3) PYP と MYP のプログラムの試行は候補校になってからとなります。区切りのいい4月から試行を始めたい場合は2月頃に提出して頂くのがタイミングがいいと思います。
9. 候補校申請書を提出した後は、どうなりますか？  
候補校申請書を提出すると、IB 側で申請書の検討に入ります。以下の資料にあるように、提出後 28 日以内に IB からメールで連絡があります。  
その連絡は以下の2種のいずれかです。  
・申請書に関して、不足や不明な点があった場合は問い合わせが来ます。場合によっては追加の資料を期限までに提出することが求められます。  
・申請書の検討が済み、候補校への移行の決定の連絡が来ます。この場合は、指示に従って手続きを進めてください。
10. 候補校になったら、そのあとはどうすればいいですか？  
候補校になると IB から IB コンサルタントが配置され、相談にのってくれますので、PYP と MYP の場合はプログラムの試行から完全実施に向けて、DP と CP の場合は認定後のプログラム実施に向けて準備を行います。IB コンサルタントは新しく認定校を目指す学校を支援する IB コンサルタントとしての IB 主催の研修を受けた経験豊富な IB 教員です。IB コンサルタントは現役の教員であることがほとんどです。IB コンサルタントは日本人、日本語が堪能な人、日本在住とは限りませんが、積極的に相談してください。IB コンサルタントは IB のプログラムの実施に向けて、20 時間の遠隔の相談にのってくれます。(学習指導要領との整合性に関しては IB コンサルタントの専門外ですので、学校で調査、検討を重ねてください。)また、コンサルテーション訪問(2日間)に1回来校してくれます。コンサルタントが学校が次の重要な申請である認定校申請の準備が出来ていると判断したら、コンサルテーションを終了し、認定校申請書の提出の準備をします。認定校申請書は全く新しい申請書ではなく、候補校申請書をアップデートする形とってください。
11. 認定校申請書を提出すると、次は何をしますか？

認定校申請書を提出したあとは、確認訪問(3日間)を受けます。この訪問に基づき認定の判断が下されます。場合によっては認定までに追加の資料などの提出をお願いすることもあります。認定が決まり次第、IBO と学校で合意書の取り交わしがあり、それが終了した時点で「認定校」となり、IB に公式ウェブサイトにも校名が掲載されます。

## 12. 一度認定校になったら、ずっと認定校ですか？

いいえ、5, 6 年ごとに更新の可否とプログラムの発展を評価する評価訪問があります。

## 13. 認定までにどのくらい費用がかかりますか？

認定までに IBO に支払う費用は以下をご覧ください。毎年改定されますのでご注意ください。

<https://www.ibo.org/become-an-ib-school/fees-and-services/>

かかる費用の概要は以下の通りです。

### 【候補申請書提出までにかかる費用】

- ①管理職用ワークショップ費用
- ②候補校申請費

### 【候補校期間にかかる費用】

- ①候補校年会費
- ②ワークショップ参加費用(+必要に応じて交通費、宿泊費)
- ③コンサルタント訪問費用(コンサルタント1名2日間の学校訪問に関わる国内交通費、宿泊費、食事代など)
- ④確認訪問関連費(訪問団3名3日間の学校訪問に関わる国内交通費、宿泊費、食事代など)
- ⑤学校が必要と判断する設備、備品費など
- ⑥学校が必要と判断する人件費

## 14. 認定されてからどのくらい費用がかかりますか？

- ①認定校年会費
- ②新採用教員のワークショップ参加関連費(+必要に応じて交通費、宿泊費)
- ③ガイド改訂に伴う教員のワークショップ参加関連費(+必要に応じて交通費、宿泊費)
- ④学校が必要と判断する設備、備品費など
- ⑤学校が必要と判断する人件費
- ⑥5, 6 年ごとに実施される評価訪問関連費(訪問団2名2日間の学校訪問に関わる国内交通費、宿泊費、食事代など)

以上